

南風じんけんだより

第62号

発行

令和5年2月1日

発行：糸島市人権・同和教育推進協議会 南風支部 広報委員会 TEL：322-9656

人権フィールドワーク

昨年度はフィールドワークは中止となりましたが、今年度は10月8日に明治以降の日本の経済発展を支えた炭鉱の歴史の中で、どのようにして部落差別がはじまったかを知るため、田川市、志免町の炭鉱に関する遺跡を訪ねました。行先は、田川市石炭歴史博物館、飯塚旧伊藤伝衛門邸、志免町手々港橋跡です。この地区の石炭の採掘は江戸期に始まり、明治以降の日本の産業を支えてきました。



山本作兵衛さんの炭鉱絵画

炭鉱と部落差別の問題は繋がっている

その炭坑には他所から入ってきた人たちは身分を明かせない被差別身分とされたのが始まりのようで、石炭産業が発展するにつれて、被差別部落人口が増えていったとのこと。

また、2011年にユネスコ世界記憶遺産登録された山本作兵衛さんの炭坑の生活や採炭の様子を炭坑絵とし描いた作品は、貧しくても懸命に生きていく素晴らしさを教えています。



このように地域の歴史を学び、その実際を知るフィールドワークを通じて、正しい知識と人権感覚を育てていきたいと思いました。



【フィールドワークの行程 -2022年10月8日-】

南風小 → 田川市石炭・歴史博物館 → 旧伊藤伝衛門邸 → 旧志免鉱業所竪坑跡 → 南風小

人権標語



令和4年度人権標語入選作品表彰式

(12月4日：南風コミュニティセンター)

人権啓発活動として取組まれた「令和4年度人権標語」の募集に南風小学校児童と校区の皆さんから388作品の応募がありました。その中から下記の皆さんの作品が入選されました。



学年	なまえ	標語
1	山下 智矢 さん	ともだち いっぱいつくって みんなで あそぼう
2	山並 夏々 さん	どうしたの こまっていたら こえかけて
3	小西 桃可 さん	自分でまもろう 自分の心 みんなでももろう みんなの心
4	門脇 朔輝 さん	支え合い みんなやさしい 心持つ
5	福田 柚希 さん	いじめゼロ 南風小の 合言葉
6	上野 祐太郎 さん	つくろうよ 差別やいじめ ない世界
7	外處 衣愛 さん	その冗談 相手は本当に 笑ってる？
8	久保 大樹 さん	うまれる国がちがっても みんなみんな 人間です
9	一般 村山 光 さん	多様性 いろんな意見 受け止めよう

★思い当たることはありませんか？
 「性差による偏見・思い込み」
 「ジェンダー・バイアス」とは人や社会が無意識のうちに性差や男女の役割について固定的な思い込みや偏見を持つこと。
 「女性だから家事をすべき」「育児に専念すべき」「男性だから外で働くべき」「男らしくふるまうべき」等々、自身の「ジェンダー・バイアス」に気づかないままとなってしまうか。

※ 「人権標語」の応募数が昨年(562作品)に比べて大きく減少しました。次年度に向けて、皆さんの積極的応募をお願いします。

人権映画祭

【12月4日(日) (於)南風コミュニティセンター】

【名言】

- ・「あなた方は聖書を持っています。だから自分で自分を始めなさい」
- ・「天国は日本からでも米国からでも同じでしょ」
- ・「どんなに順風であっても、舵がなければ目的地に行けない。自分の心の舵をしっかりと保っていこう」

やじま かじこ
矢嶋 楫子



関心のある人権問題(※複数回答)

子ども(育児放棄・虐待等)	8
高齢者(虐待介護等)	4
性的少数者(性同一性障害)	4
同和問題について	7
北朝鮮拉致被害者等	2
HV感染者、ハンセン病患者等	
外国人	4
刑期を終えて出所した人	
アイヌの人々	1
障がい、発達障がいがある人	6
インタ-ネット等による人権被害	5
女性(DV/性的差別待遇等)	1
東日本大震災人権侵害 犯罪被害者等	
人身取引	
ホームレス	2
ヤングケアラーについて	1
合計	45



皆さんの感想

(抜粋・原文のまま)

- ◆映画鑑賞プラスで内容に関する講演会(?)みたいなものがあるとより理解が深くなり、参加者同士の交流も生まれてよいと思いました。準備お疲れさまでした。
- ◆男女同権という身近な人権課題をスタートから考えるのに良い映画でした。
- ◆しっかり自分で考える大切さを教えてもらえました。
- ◆映画講演会の実施で暖かい街づくりが進むといいですね

いまさらきけない! コロナ差別って?

ウィズコロナ (コロナと共存) とされるけど……

◇コロナ差別

コロナ対策をやっているつもりが、周りの人にとって過剰な反応となっていることがありますか。思い込みが差別や偏見を生みだしている場合があります。正しい知識・情報に基づいて行動し、コロナ差別をなくしましょう。

実例をもとに、コロナ禍での差別や偏見を **改めて考えてみよう**

CASE1 医療従事者やエッセンシャルワーカーとその家族への差別や偏見

<実例> あなたの奥さん、病院で働いているんだよね。悪いけどしばらく出社を控えてほしい。

CASE2 感染者とその家族への差別や偏見

<実例> ○○さん職場復帰したけど後遺症あるみたい。まだうつるかも。近寄らないようにしよう。

CASE3 思い込み、過剰な反応による差別や偏見

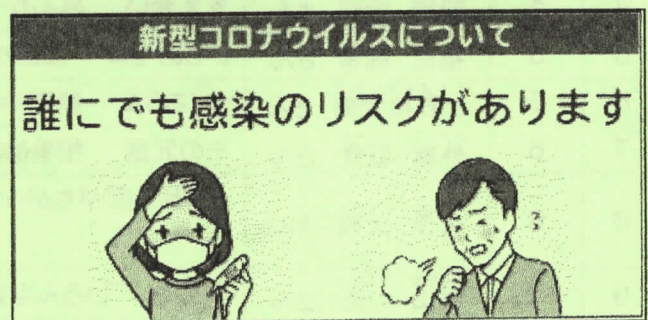
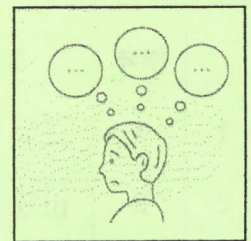
<例> 県外ナンバーの方は、一切、この施設のご利用をお控えください。

CASE4 新型コロナワクチンの接種を受けていない人への差別や偏見

<例> ワクチン打った人がわかるよう、みんなこのバッチを着けよう。

コロナ対策のつもりが

過剰な反応になっていませんか?



コロナ差別をしないことはコロナ対策のひとつです!!

出典: 法務省・全国人権擁護委員会連合会のリーフレット